

14. 腎がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容	
			開腹手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下小切開手術					治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1 泌尿器科	2	2	状況 ○	○	×	○	○	×	低侵襲な腹腔鏡手術を心がけています。再発、転移症例には、分子標的薬治療を行いません。放射線療法は市立大学附属病院等と連携しております。	ア http://			
			実績 なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ http://			
2 外科	1	1	状況 ×	×	×	×	×	×	病状の進行に伴う種々の苦痛(特に疼痛)や抗がん化学療法に伴う苦痛の緩和に積極的に取り組んでいます。	ア http://			
			実績 なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ http://			
3			状況							ア http://			
			実績							イ http://			
4			状況							ア http://			
			実績							イ http://			
5			状況							ア http://			
			実績							イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:腎細胞がん
------------------------------------	---------